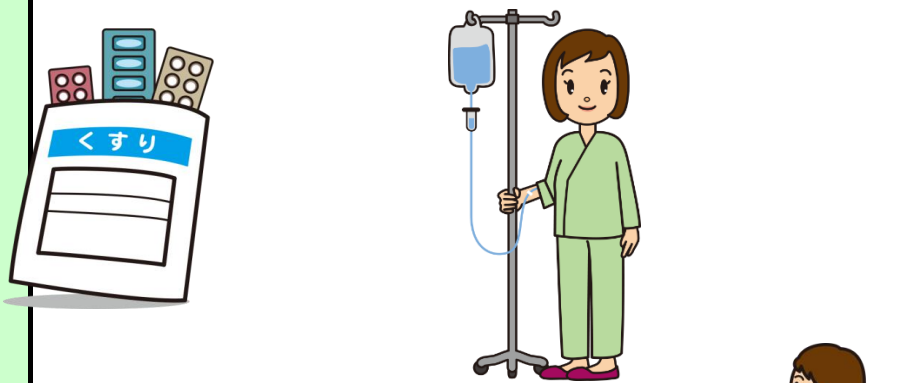
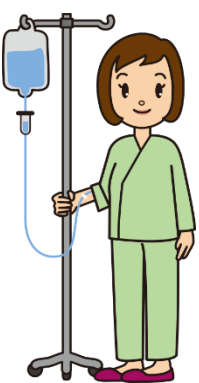
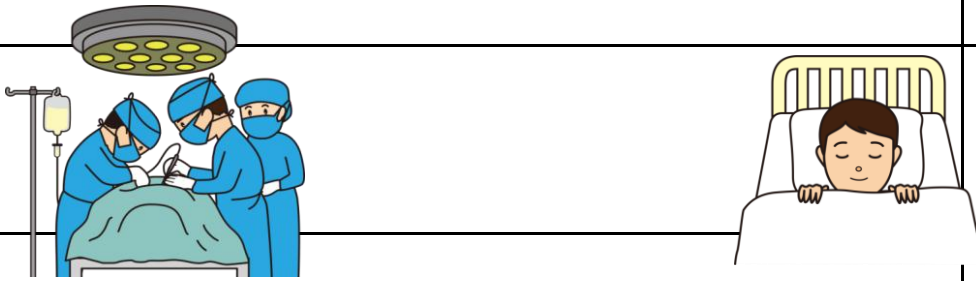
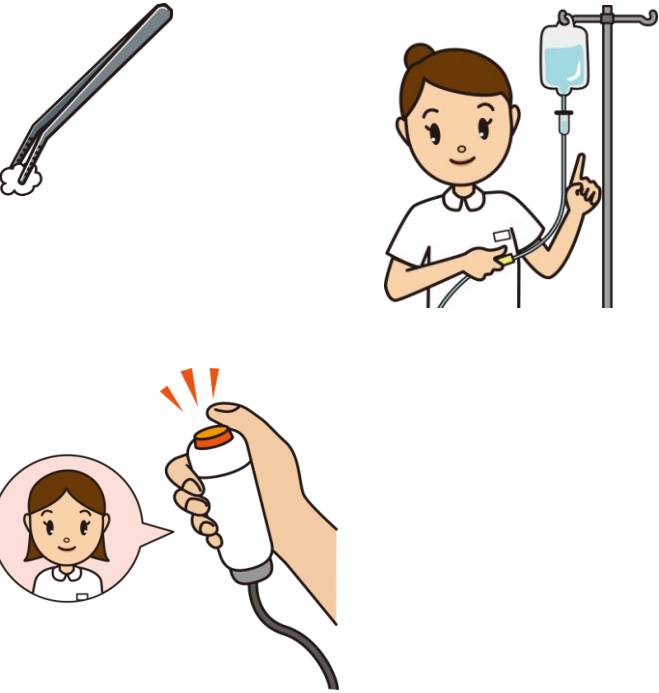
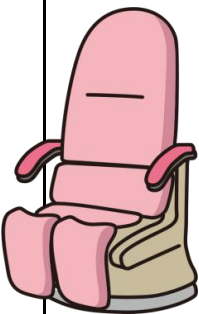
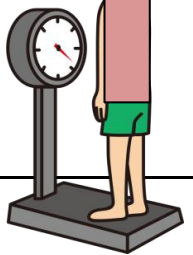
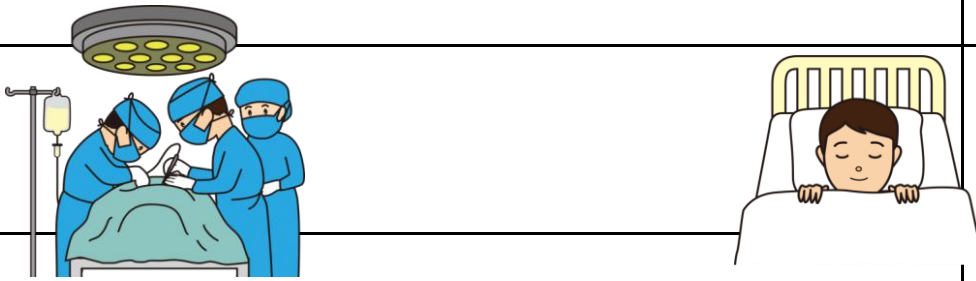
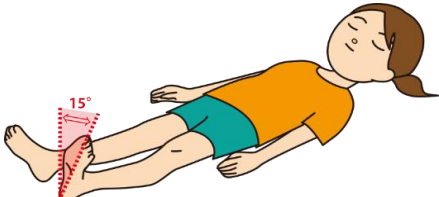


腹腔鏡下子宮摘出術を受けられる患者さんへ

患者氏名：

主治医：

受け持ち看護師：

項目 \ 月日	入院（手術2日前）	手術前日	手術当日	手術後1日目	術後2日目	退院日（術後3日目）
達成目標	・手術に対して分からないことや不安なことを医療者に表出し、精神面・身体面を整えて手術に臨むことができる			・術後合併症がなく経過する事ができる ・手術後の経過で分からないことや不安なことを表出できる		・退院後の日常生活の留意点と言える ・異常を自覚した場合の対処法と言える
治療・薬剤 (点滴・内服) ・処置 ・リハビリ	・現在、内服中の薬は医師の指示に従って下さい ・患者確認用のリストバンドを装着します ・準備する物：T字帯1枚、ナプキン1袋、ティッシュペーパー1箱、バスタオル1枚 ・深部静脈血栓を予防するための弾性ストッキングをお渡しします ・点滴をします 	・購入して頂いた手術の必要物品を看護師が確認し準備をします ・手術の妨げになる部位の除毛をします ・おへそをきれいにします ・手足の爪を切りマニキュアを落としてください。指輪、ネックレス、ピアスは外します ・15時、21時に下剤を内服します ・点滴をします 	〈手術前〉 5：30 看護師が起こします。体温を測り、洗面を済ませてください 6：00 血圧を測ります。処置室または病室で浣腸をします（便の量を確認しますのでトイレの水を流さずに、ナースコールを押してください） ・下着を取り、手術衣を着用します（ショーツは着用できます） ・弾性ストッキングを着用します ・コンタクトレンズ、めがね、入れ歯を外してください ・医師、看護師と一緒に手術室に行きます 〈手術後〉 ・食事が食べれるようになるまで点滴をします ・足に深部静脈血栓症予防のフットポンプを装着します ・痛みが強い時は鎮痛剤の点滴をします ・創部を確認します 	・お部屋で診察があります ・痛みが強いときには鎮痛剤の点滴をします ・食事摂取状況をみて点滴を抜きます ・創部を確認します 	・退院前に退院診察があります ・痛みがある時には鎮痛剤を内服します 	・創部を確認します 
検査	・採血があります ・医師による診察があります ・身体測定をします 			・採血があります		・採血があります
活動・安静度	・制限はありません		・手術後はベッド上安静です。寝返りは可能です。	・ベッドの頭の方を徐々に上げていき、可能であれば歩きます ・初めての歩行は付き添います		・病院内制限はありません
食事	・食事はできませんが、飲水はできます		・飲水、食事はできません ・うがいはできます 	・腸の動きをみて、医師の指示で昼食（粥食）から開始します		・粥食より普通食となります ・普通食です 
清潔	・制限はありません		・手術後はベッドの上で歯磨き、顔拭きをします	・体拭きを一緒にに行います		・医師の許可でシャワーに入ることができます ・介助が必要な方には介助します 
排泄	・制限はありません		・手術中に尿を出すための管を入れます	・トイレまで歩ければ、尿の管は抜けます		・制限はありません
患者様及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導	・看護師が今までの生活についてお話を伺い、手術前後の経過について説明します ・看護師が手術の流れについて説明します ・主治医より本人・ご家族へ手術の説明をします。その後、手術同意書に署名・捺印していただきます ・麻酔科の医師が麻酔について説明します。麻酔同意書に署名・捺印していただきます ・手術室の看護師が訪問します 		・手術室からの連絡は全て病棟に入ります。ご家族の方は病室か4階デイルームでお待ちください ・貴重品はご家族に預けるか金庫に入れて下さい（鍵はご家族に預けて下さい） ・血栓を予防するために、膝が曲がるようになれば足首のそり返しや足の曲げ伸ばしをしましょう 		・退院後の日常生活について説明します	・10時退院予定です ・次の外来受診日を確認して下さい 産婦人科外来（平日8時30分～17時） 0985-85-9332 産婦人科病棟 0985-85-1746 

この経過表は入院から他院までのおおよその経過をお知らせするものです。
諸所の理由で経過通りにいかない場合もありますことをご了承ください。

宮崎大学医学部附属病院